



第 719 号

発行人●豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(1月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,333人
女 3,375人
総人口 6,708人
世帯数 2,202戸

陣馬形山より段丘の豊丘を臨む

新年のあいさつ
「しばらくは離れて暮らす」「コ」と「ロ」と「ナ」
つき逢ふ時は君といふ字に」
©タナカサダユキ
村長 下平喜隆



村民の皆様、明けまして
おめでとうございます。

毎年の新年のあいさつと
言う事ですが、今年はいつ
もと違う様相の暮れと正月
になりました。新型コロナウイルス
感染症の世界的な
パンデミックにより、我が
国も観光業、飲食業をはじめ
様々な業種で廃業や業務
縮小、転業の危機にさらさ
れています。

昨年の夏から秋にかけて、
少し感染拡大が抑えられた
と思われた新型コロナウイルス
感染症ですが、第
三波による
急激な感染
拡大により
緊急事態宣
言が再度発
令され、忘



新年会、旅行のキャンセル
などで、様々な業種で再度
経営の危機に見舞われてい
ます。村といたしましては、
国からの第三次新型コロナウイルス
交付金の施行の内示を受け
る中で、至急即効性のある
経済対策を実行していきま
す。村民の皆様のご家庭でも
都市部からの子どもさんや、
お孫さんの帰省を自粛した
り、恒例の二年参りもかな
わなかったと言う事で、い
つもと比べて寂しいお正月
を過ごされた方が多いと思
われます。

新型コロナウイルス感染
症によつて今試されている
のは、私たちの絆の強さで



「SDGs推進センター的機能」
を有する公民館に
公民館長 市澤和宏

明けておめでとうござ
います。
世界中で猛威を振るう新
型コロナウイルスは未だ終息
がみえない状況で、感染者数
も日々過去最多を更新し、
加えて変異種も発生し、二
度目の緊急事態宣言の発令
となつてしまいました。村民
の皆様におかれましては、例
年とは少し違った新年をお
迎えのことと思います。年が
改まりました。諸手を挙げ

中でお互いを思いやり支
えあう豊丘村に」と題し、
南信教育事務所の牧野孝
裕先生に講演いただいた。
飯田の飲食店が閉店に追い
込まれた話では、原因は根
拠のないデマ情報だった。
当事者の方々は、切なくや
り切れない思いだったのだ
う。家族や友人を案じるあ

は節度ある対応で、感染者
を守ってください。悪いの
は新型コロナウイルスです。
豊丘村では村を挙げて感染
者の人権を守る「シトラス
リボン運動」に取り組んで
います。

村民の皆様には、今年一
年がよいお年でありますよ
うに。
そんな中、一縷の光明と
感じることがあります。
それは国連が提唱するS
DGs(持続可能な開発目
標)です。これからの公民館
が担っていくべき機能と
して「SDGs(学校関連では
ESD)推進センター的な機
能」が「学習と実践活動の
拠点機能」「地域活性化・
創生センター的機能」と共に
要求されています。SDGs
の十七の目標は、貧困や飢餓、
環境問題、経済成長、ジェ
ンダーに至る広範囲な課題
を網羅しており、豊かさを
追求しながら地球環境を守
り、誰一人取り残されない。
人々が人間らしく暮らして
行くための社会基盤を達成
することが目標とされてい
ます。

正に公民館という目標で
あり、これに呼応した公民館
を目指して、本年積極的に踏
み出したいと考えています。
日常生活でも人との接触を
よくし、お願いいたします。

成人式延期とコロナ禍の 中での人権を考える

「あのお店で会食して
いたらしいよ」その情報は
事実か。ウイルス感染とは
異なる、心が痛む感染が広
がらないよう気をつけなけ
ればならない。

また、進行性筋ジストロ
フィーという難病を患う鹿
野靖明さんと彼を支えたボ
ランティアの物語「こんな

夜更けにバナナかよ」(渡
辺一史 北海道新聞社)か
ら、「人に迷惑をかけては
いけない」という考え方を
捨てようという話もあつ
た。主人公は、「俺がわが
ままにふるまうのは「他人
に迷惑をかけたくない」と
縮こまっている若者に「生
きるっていうのは迷惑をか
け合うことなんだ」と伝え
たいからだ」と言っている。
日本人のもつ「人に迷惑を
かけるな」という発想から、

「人に迷惑をかけてもいい
んだ。人は誰もが、人に迷
惑をかけなければ生きてい
けない存在なんだ」という
発想へ転換してみようとい
う話であった。

豊丘村でもシトラスリボ
ンプロジェクト(三面参照)
を推進している。心が痛む
感染を防ぐよう、地域、職
場、家庭で「コロナ禍の中
での人権」について考えて
みてほしい。

(教育委員会事務局 松村佐織)

段丘
二〇二〇年は新型コロナウイルス
の影響が甚大な経
済危機をもたらした年とな
り、どの業種も売り上げが
半減したり倒産の危機に遭
遇したりと、社会にとって
庶民にとって苦労の連続の
一年となった。中小企業や
個人経営者には持続化給付
金なるものが国より支給さ
れたが、それでもやりくり
には相当苦勞し乗り越えた
にもかかわらず、ワクチン
の開発が長引き接種される
まで不安の毎日が続く。

宮下正弘

シリーズ「元気な高齢者」(75)

小柄な体格に柔和な笑顔 前向き人生に悔いは無し

毛涯 義見さん
九十五歳
中部二在住



大正十五年に、四人きょうだいの長男として農業を営む両親のもと、現在地に生まれたが、母親は病弱であり、三十八歳の若さで亡くなった。義見さんは小学生当時から好奇心溢れる少年であり、自宅近くにあった

た製糸工場で機械の動きを飽きること無く興味深く眺めていることがしばしばであった。母親の死後、家族を養うため懸命に働く父親

浜名海兵団へ徴集された。そこで空襲に遭ったが、寄宿舎に居て難を免れたのは本当に奇跡的で幸いであつた。

の姿を見ていたこともあり、小学校高等科を卒業後は、当時盛んであつた県道の普請工事に就いた。まだ成人の体には至つていなかったが、家計の一助になるのだとの気概を込めてひたすら働らいた。やがて豊川の海軍工廠に行き機関銃関連の生産に従事した。数万人が働く巨大な工場に圧倒された。そして昭和十九年の徴兵検査に合格、翌二十年に

やがて終戦となり、帰省し土木作業、百姓などの生活を経て、ある人の紹介で農協で働くことになり二十年間ほど勤めた。その傍ら消防車の運転も行っていた。そうこうしている内に、ブローラー業を営んでいた同級生から誘いがあり、手伝えることになり、十五年間経験して昭和五十二年に『豊丘食品』として独立した。肉を加工、味付けする

など研究し付加価値を付け当時の飯伊地区の先駆けとして、村内の給食センターはもとより遠く関東、関西方面まで出荷して会社を拡大させた。設立の当初、飯田市の食品市場において知人と偶然出会い、丸一通商との縁ができたことが大きな要因であった。新鮮ものを提供したいとの一心であった。その本業の傍ら友人と共に乳牛、豚などの飼育にも関わり多角経営を成功させた。一方、公務でも活躍し河野区の土木から始め、区長までの計十四年間勤めた。その間、大宮神社のおかめと獅子舞の礎を築いたことは大きな誇りである。区長当時、『りんごっこ公園』造成計画に対して周囲の猛反対を押し切り完成させたが、今では子供達

が楽しみとする場となっている。

若い頃は仕事一筋で、これと言った趣味を持たなかったが、会社経営当時に社員旅行で全国各地を巡ったこと、今でこそ少なくなったが、一緒に通った小学校時代の同年生との集いなど懐かしい思い出が蘇る。又きょうだい全員が健在であり、時々ではあるが全員が顔を合わせるのを皆が楽しみにしている。

平成の終りまでの三十三年間会社を経営したが、大手の進出が始まり価格的に太刀打ち困難と判断し廃業を決断した。現在は自宅での野菜作り、更に小一時間の散歩などが日課となっている。また週一回は『はつらつ』に通い体を動かすと共に、仲間と語らうなどし

て健康維持に留意している。特にクイズ・パズルが好きで、新聞などの当該欄で間違い探しを中心に毎日脳トレに励んでいる。始めたからには徹底して続けるのが幼少時からの性格である。アルコールは消防に所属していた頃はかなり飲んだが、最近ほとんど飲まない。七十歳を過ぎて始めたマレットゴルフは仲間の減少と共に、足が遠のいてきたのは一抹の寂しさがある。車の運転免許は昭和二十七年に取得し長年重宝してきたが、最近の高齢者の事故報道の多さに感化され、また周囲の勧めもあり九十歳前に返納した。富士山には直近の一昨 autumn を含めて五回登頂している。普段のウォーキングで自然と鍛えられた健脚は衰えを知

らない。二十四歳の時、松川生まれの千代さんと結婚し、当初から何かにつけて苦勞をかけてきた奥さんに五年前に先立たれたことが本當に無念である。

思えばこれまでの人生、三つの『感』があった。

- ・ 先見の明により創業し、順調に拡大した会社経営に携われた充実感
- ・ 地域に貢献できた満足感
- ・ 五年前に初めて長期間入院したもの、今ではすっかり回復し、家族で穏やかに過ごせる幸福感

現在は息子夫婦との三人暮らしであるが、時々村外に住む六人の曾孫が訪れ和ませてくれる。苦勞を苦勞と思わず、前向きで積極的な気持ちこそが健康長寿の源であろうと感じた。

文責 桐崎長一

者は以後毎回、定額の25円宛を返金していく。

利競り講は、前例と同じ場合、元金500円に対する年利を競り、1割5分と1割3分の入札があれば利率の高い1割5分を入れた者が落札者となる。落札者は500円の1割5分である75円を返金することとなる。掛金者は元金より返金の額を差し引いた額を末取口数で割った掛金をその回の掛け金とする。相当な高利に競り合う場合があるので、回数を重ねると返金額が元金より多くなり、この場合は割り戻し金として全口数に割り戻していく仕組みである。

農村の唯一の金融機関であったから、最後(満会)まで確実に運営させるために世話人4、5人を置き、一切の事務、勘定を総括し証

行上、混乱状態となった。

未取者は債権者であり、返金者は債務者であり、返金不能が多くなれば講会は成立不能となり行き詰まっていた。そのため村を挙げて重大な問題となり、当区にても総会を開きこの対策を研究した結果、整理案を立てて整理することを決めた。その整理案はおおむね次のようなものであった。

それは債務者はむろんのこと、殊に債権者の納得のゆくものでなければならぬ。まず債務者の加入するすべての講の今後返金する総額を個人別に算出する。そしてこの金額を債務額も債権額も一律に切り下げを行う（現在たまたまいわれているデノミネーションと意味は同じようである）。

蛇川下流域三六災害体験談 (20)
蛇川が土砂をたくさん流すのは、なぜなのか？

原 章 (古畑)

☆ 虻川上流部では花崗岩の風化が常に進行☆

☆風化した小石や砂は、常に少しづつ下流に流れる—

百年に一度というような豪雨が来ると、そのたまつて

前

またこの利息も年利1割(10%)から1割5分(15%)

て生きてきたのである。
さてこの講には元競り講

万一返金者（債務者）が期日に返金のできない場合な

下げたと記憶する。債務者はこの切り下げた債務額を

前回までに触れましたが、虻川では大きな堰堤を築いても、すぐに満杯になつてしまします。また、三六災の時には上流からの土砂などが虻川下流域で堤防ぎりぎりになるほど大量にたまりました。これらのことが、どうして起こるのでしょう。

方、上流にたまっていて一気に流れることもある☆

花崗岩は風化して細くなり川を下って来ます。そうやって一定程度が常に流れ、途中に堰堤などがあればたまります。時間が経過すれば、それが結構な量になるので、堰堤も何年かすれば一杯になるのです。

常に流れて来ているのは風化土砂の一部です。かなりの量は上流にそのままたまり続けます。年月が経てば虻川上流の無数の谷で相当の量がたまるわけです。



虻川上流域での花崗岩風化

(続)

とのおか100年前

56

『豊丘村民話集』より

無尽講とその終焉

武田英美

一般庶民的な金融機関のない頃、零細な百姓は少し大きな金の必要な場合、何ともしようがなかった。明治の終わりの頃から大正の初め頃は、10円の金を個人から借りるにも信用のある人の請け判（保証人）を立てて平身低頭借り出した。

購入、家普請、嫁取りなど大金を要する場合、これを競り取つて使つた。頼母子の意のごとく親子、親類、隣近所を頼んで講を拵こしらへたのであらう。

講の例を挙げる。

元競り講は一口の元金25円20口にて構成した場合、金500円の講。これを競り遭った場合、500円以下でもっとも低い金額を入札した者が落札者となり、これを末取口数で割った額がその回の掛け金となる。返金

特別なものに1000円講もあり、当時の価値から考えて実に大金であった。しかるに大正の末期から昭和初期の世界的な不況に悩まされ国の経済は極度に沈滞してしまった。この中で手広く広げた講も返金のできない者が続出し、貸借の義務履

ないことを申し合わせ、明治以前からあったと思われる伝統ある農村の庶民金融機関として重要な役割を果たしてきた無尽講もまったく途絶えてしまった。

（豊丘村民話集・第壹輯
《昭和五十二年》より）

文責・壬生雅穂

またこの利息も年利1割(10%)から1割5分(15%)という高利が普通であつたという。市街地には銀行はあつても少しまとまつた金を借りるには相當な財産があつてこれを担保にしなければ借りられない時代であつた。零細な百姓は仲間の力により相互の扶けあいにより細かい金を出し合つて融通しあう頼母子講(仲間講)または無尽と言つた)を始めた。そして借財の返済や田畑の

て生きてきたのである。

さてこの講には元競り講もとせりこうと利競り講りせの二様があった。元競り講は元金を競り、この競りの強い者（低額なもの）が落札者となる。利競り講は元金に対する年利を競り利率のもつとも高いものが落札者となり、いずれも入札で決めた。一家の事情によりどうしても金の必要な場合は極力競らねばならない。

ここで元競り講と利競り

万一返金者（債務者）が期日に返金のできない場合などは世話人はきびしく督促して整理した。講会の会場は前回の落札者のところを順次回って行われた。またおおむね1月と8月の年2回建ての講であつた。

このような講がここ堀越には大小30くらいあつたと思われる。明治の終わり頃から大正と昭和の初め頃のことです。元金300円〜500円くらいなものが多かつたが、

下げたと記憶する。債務者はこの切り下げた債務額を以後5カ年に分割して出金する。債権者は債務者の出金総額を総債権額に案分して5カ年に支払うこと。以上の整理案を総会にて了承し、この案通り5カ年につづがなく整理され、かくて極めて困難な問題であったこの整理も円満に解決され昭和初期のきわめて厳しい不況を乗り切ったのであった。以後、無尽講は存立し

ないことを申し合わせ、明治以前からあったと思われる伝統ある農村の庶民金融機関として重要な役割を果たしてきた無尽講もまったく途絶えてしまった。

（豊丘村民話集・第壹輯
《昭和五十二年》より）

文責・壬生雅穂

文責..壬生雅穂

2021年
紙上年賀状

新年の抱負

年男・年女 がんばる もう～



今年から六年生
毛涯羽望(市ノ沢)

わたしは今年で六年生になります。

小学校で一番上の学年になります。新しく入ってきた一年生や低学年に分らないことがあったら、やさしく教えてあげたいと思います。六年生になると、児童会を引っぱっていきこうになるので、いっしょけんめいがんばっていききたいと思っています。



二〇二一年にがんばること
壬生江輝(壬生沢西)

ぼくは、今年六年生になります。六年生になったらがんばりたいことがあります。

それは、授業で発言することです。ぼくは、あまり人前でしゃべることが得意ではありません。でも、自分の思ったことや考えたことを勇気を出して周りの人に伝えることで、自分の気持ちや考えを分かってもらえると思います。そうすることで、もっとクラスの友達や周りの人と仲良くなれると思います。

新年を迎えて

木下拓哉(山田)



新年あけましておめでとうございます。



新年を迎えて
黒田美佳(北市場二)

昨年を振り返ってみると就職をし社会人一年目で覚えることが多く、毎日が勉強でした。また、資格取得のための試験にも挑戦することができました。

新年の抱負としては、引き続き、資格試験の勉強に励み、今までの経験を生かして、新たなことにも取り組んでいきたいと思っています。

最近、なかなか身動きが取れず、息苦しい世の中になってしまいました。健康に気をつけながら頑張りたいです。自分にとって皆さんにとってもよい一年になりますよう願っています。

新年、明けましておめでとうございます。二〇二〇年はコロナにより前例のない年となりました。常に目の前の状況を観て、何を選択していくのか、その判断を継続した年だったと感じております。移住して早七年、昨年ほど地域の皆様に支えていただいたと実感する年はありませんでした。本当にありがとうございます。

二〇二一年は、仕事や地域を通して恩返しできるような日々精進していきたいと考えております。

二〇二一年は皆様にとって実り多き年となりますように願いを込めて新年のご挨拶とさせていただきます。



二〇二一年
片桐雅博(林里二)

昭和四十八年生まれの私は四十八歳になります。毎年何となく年を重ねてしまっていますが、やはり年男の一年は何か特別なものを感じます。

近頃は近くの文字にピンと合わなくなってきたし、腹が出て体重も増える一方です。努力を少しでも若々しくありたいと思います。

新年の抱負
・筋トレをして少し痩せたい
・オйкаワから盗塁を決めたい
・マコからホームランを打ちたい
・ヨンパチでもう一度全国大会に行きたい
・修士号を取りたい
・焼肉小屋で宴会をしたい
・みんなで仲良く平和に暮らしたい。

人生の再スタート

深水教之(北市場二)



新年明けましておめでとうございます。私は、今年年男で還暦を迎える年となります。その日の生活にも苦しんでいる人もいます。

ただ私は耐え忍んでいくことしかできない。早く収束し平穏な生活に戻れることを願うばかりです。



今年こそいい年ありますよう
福澤英夫(城)

再検討し「豊かな人生」を送る第一歩を踏み出す年としたいです。豊丘村に居住し十年になります。子供達も、小、中、高校と豊丘村で成長しました。他から転居して思うのですが豊丘村は大変穏やかで住みやすい村です。「コロナ」禍ではあります。今年が村民の皆様にとって平穏な年であることを祈念致します。

家族みんな健康で楽しく

筒井カツ美(中芝)



私達には四人の子供がいます。みな配偶者を得、孫が九人、私達夫婦を合わせる十九人の家族となります。それが益暮れに集まり大宴会に、そして集まった全員で写真を撮り今年が孫が増えたこと喜んでおりました。昨年は外国に住んでいる娘の家族が帰ってくることに、久々に全員集まることのできると楽しみにしていたのにダメ。私も古希を過ぎ夫婦で旅行でも楽しもうと思っていた矢先、庶民のささやかな幸せをつぶされた。「につくきコロナめ！」

このコロナで多くの人が亡くなり、経済や社会に大きな影響を及ぼしています。その日の生活にも苦しんでいる人もいます。

ただ私は耐え忍んでいくことしかできない。早く収束し平穏な生活に戻れることを願うばかりです。

俳句 短歌

山麓はそれぞれの色冬うらら子等と訪ふ寺も社も落葉霏々
コロナ禍や逢へぬ日続く冬の空
星空に風ふんわりと今朝の雪
谷へだて望むアルプス鳴高者
狂ひ咲く緋木瓜あでやか誕生日
信州の景色あつめて新暦
天竜野採血へ腕を差し出して
流木の白骨化して冬銀河
寒夕焼面影しのぶ母忌日
山茶花のはらはら散るも浄土かな
無観客の牝馬の蹄冬晴るる
万節の歯をさしませて柿をはむ
つつましく余生へこぼる実南天
寒月光枝ぶりの影匂ひ立つ
山笑ふ疫病は人を隔てけり

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子
矢島千勢子
池田 美和
細井 恵子
河手 洋子
吉川 明子
北原 昭子



Citrus Ribbon PROJECT

シトラスリボンプロジェクト

新型コロナウイルス感染症から生まれる誹謗中傷を防止する取り組みとして、愛媛県で始まりました。お互いを思いやり支え合う豊丘村であり続けるために、差別的な表現を使わない、誤った情報やうわさを拡散しないようにしましょう。

ウイルス感染防止はもとより、心が痛み感染を私たちで防ぎましょう。

柳

〈豊丘村川柳クラゲ豊柳会〉

▼課題「怨」 福沢勝美 選

茸取り隣りのかごは八分目 安田 喜子
越し方の怨み行為に心痛す 神稲 邪道
除夜の鐘憎しみ怨み連れていけ 林 もも子
ままならぬこと人生怨むまい 原 美風

軸吟：拉致くやし北を怨んで四十年

▼課題「室」 互 選

厳しい世温室育ちウツを病む 桃沢 健介
待合室三密あつて会話なく 西元 峯子
モリカケも桜もみんな密室で 山本 義彦

▼自由吟 桃沢健介 選

友の輪を感謝と思ひ日々暮らす 鎌倉美登里
手と心掛けた千柿初出荷 市沢 照子
あの人の思い浮かべて賀状書く 小澤 凜
三密にふりまわされて年の暮れ 福沢 勝美
はやぶさはカブセル置いて又旅へ 久保ひろし

軸吟：宴自肅説いたソーリの梯子酒

〈とよおか短歌会〉

喉痛みコロナ疑い熱計る焼き鮭臭いお葉漬け辛い 福澤貴美恵

コロナ禍で幾月暮るる田園を吹き抜けてゆく風は変らず 毛涯百合子

また一人友の計報に住所録消して今年の暮れが近づく 壬生 千春

朝まだき天龍川より霧湧きて段丘を這い市田柿包む 筒井 恵子

天竜川に立ちのぼる霧帯のごと切りは眠る里の人家 北澤 秀子

年末にやらねばならぬこと多しやらねばならぬと思わぬことにす 松尾ヒサコ

天竜の川霧つつむ街灯はぼんやり黄色まるで倫敦 大原真由美

コロナ禍の最中に生れし嬰兒よりラインの動画ゆ柔肌匂ふ 福澤 亀人

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.204

ツチガエル
(アカガエル科)



新型コロナウイルスは二〇二〇年という一年間で世界中を被いつくしてしまっただけで、感染者数8、277万6、155人、死者数180万6、155人という数をもつて（12月31日時点）。前置きはこれくらいにして、地球全体からすれば針の先にもみえないローカル、飯田下伊那（昭和の大合併以前の四十二市町村）に限っての「生

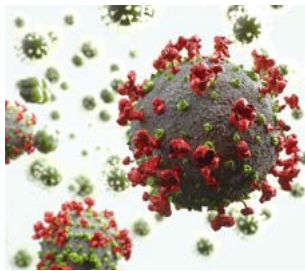
物の今」を記録しつつづけるのか。昨年最大の成果は、モリアオガエルの分布確認（35／42）だった。今年はツチガエルの分布確認。記憶では、山吹・喬木・根羽（3／42）への挑戦。モリアオガエル・準絶滅危惧、ツチガエル・絶滅危惧十一類を自分自身で実感したいだけなのか、疑問を感じながらのスタートになってしまった。（山田 拓

村内各地で土砂崩れ等300箇所以上 昭和58年災害以来の被災



1 109票 7月 豪雨災害 村内各地に 爪痕を残す

政府は、2月に日本の学校教育史上初めての全国一斉の臨時休校を要請し、4月には緊急事態宣言を発出して、不要不急の外出自粛や店舗等への休業要請等を行った。



2 103票 新型コロナウイルスで 全国一斉の臨時休校要請、緊急事態宣言発出

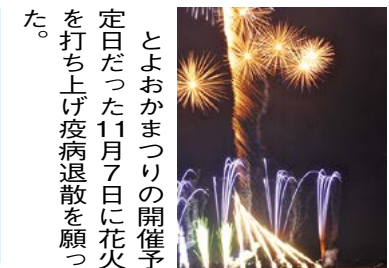
各種地域行事・事業が中止・縮小される。（冠婚葬祭・春・秋祭、卒業式、入学式、短期の夏休み、公民館事業・施設の利用制限等）



4 89票 新型コロナウイルスで 地域行事・慣習に 大きな影響



3 97票 竜神大橋 着工へ



5 80票 コロナ禍でなおまつり中止 疫病退散を願い 代替花火を打ち上げる



旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

海外で生活をしていて、一番異文化を感じる瞬間、それは誰かと食事をとっている瞬間なのではないかと思う。そしてそれは記憶の中に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

カメラを手にして間もない頃は、風景にしても夢中でシャッターを切り写真を

撮りテク 写真初心者が 5 撮りテク 写真初心者が 5

写真が好きな人になる上手くなる

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

北の大地にそこがれて 北極圏での食事 津田 孝平 #11



二食目はゴヒキベラゴ。トナカイの干し肉だ。冬の間に仕込んでおいた干し肉は味が染みていて、小腹が空いたときのおやつや、仕事の合間の間食、キャンプの際には重宝する。ただ干し肉を冬場に干す際に、肉を吊るす紐が指に食い込む痛みは忘れられない。こちら、マールフィはト

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び



ゴヒキベラゴ



マールフィ

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び

旅に出る動機としては十分だ。今回は北極圏での食事を写真と共に振り返りたいと思う。最初は最初、中国に強く残っている。中国で友達と食べたザリガニや、インドの家族に食べさせてもらったカレーなど、日本に帰った今、食べたくても食べられない味は私が再び